

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【諏訪小人権週間】	映像コンテンツの視聴を通して人権に関する意識を高めるために取り組んでいる。毎年、3学年は拉致問題啓発動画「めぐみ」を視聴している。また、「性的マイノリティへの理解を深める動画」は6学年を対象に視聴した。その他の学年には、人権啓発ビデオ「手伝えることはありますか」、「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」のどちらかを選択してもらい視聴した。視聴後は感想カードに記入し、学級代表3名の感想カードを人権コーナーに掲示した。
	成果 実際の体験を元にしたドラマや、学校生活の中で起こりうる場面設定であったため、そのときの気持ちを十分に考え、差別に対する考えや思いを深めることができた。
	課題 人権コーナーの場所が特に決められていないため、人権週間後もクラスの道徳コーナーに掲示できるとよかった。通年掲示することにより、児童の人権意識を持続させていきたい。
2 実践2 【いじめ0フォーラム】	運営委員会が主体となって、全児童がオンラインで参加する集会を行った。本校のいじめの現状を知ると共に、児童が主体となって、いじめを自分たちの問題として捉え、いじめの問題を予防しようとしたり、解決しようとしたりする意欲を高めた。
	成果 事前にいじめについてのアンケートを実施し、結果を解説したことにより、以前よりもいじめについての知識が高まった。各学級で「いじめ0宣言」を話し合っ、代表者が全校児童の前で発表したことにより、いじめをしないようにするという意識を高めることができた。
	課題 いじめ0フォーラムを実施したのが、6月下旬だったため、教室内に宣言を掲示しているが、意識が薄れていった感じがした。学期末に振り返ったり、宣言を復唱したりして、意欲を継続できると良かった。